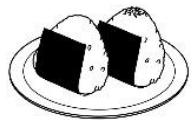


# たかさと給食だより

令和7年度1月号

1月24日～30日は

## 全国学校給食週間です。



学校給食は明治22年山形県のとある小学校において、お弁当を持ってくることがで

きない子供たちに、おむすびと簡単なおかず(焼き魚と漬物)を提供したことがはじまり

です。その後、日本全国に広がった学校給食ですが、第二次世界大戦により一時中止とな

りました。戦争が終わった後、海外から送られてきた援助物資をもとに、昭和21年12月

24日から学校給食は再開されました。現在、この日は多くの学校が冬休み中のため、

1ヶ月後の1月24日を「学校給食記念日」としています。そして、1月24日から30日

までの1週間を、「学校給食への理解と関心を深めるための「全国学校給食週間」としています。

給食をおいしく味わうとともに、栄養、健康、衛生、マナー、文化、環境、

生産と消費などについて考える機会にしましょう。

1月26日(月)

《懐かしの昭和の給食》

50年ぐらい前の給食の定番だった

『くじらの竜田揚げ』です。



なんで今は  
定番ではないの?  
高郷給食グランプリの上位に入った料理や、  
船橋産のこまつな・このしろ・米も登場するよ。



知つておこう

## 魚京に関する近年の状況

考えてみよう

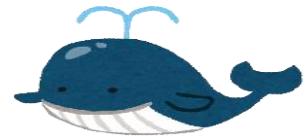


日本には古くから鯨を食する文化があり、伝統的に捕鯨(くじらをとること)を行っていた地域もあります。千葉県の南房総市もその一つです。1980年代になるとIWC[国際捕鯨委員会]で商業捕鯨が禁止されました。その後は、資源管理のためのデータを得る調査捕鯨が続けられてきました。日本はデータをもとに商業捕鯨の再開を望みましたが、IWCでは認められませんでした。そこで、日本はIWCを脱退し、2019年7月より商業捕鯨を再開しています。

### 《魚京について》

Q、そもそも鯨ってどんな生き物?

A、れっきとした哺乳類。水の中で生活しているけど魚ではありません!陸にいた祖先が、海に入って生活するようになったと考えられているよ。調べたら、カバに近いんだ。



Q、いつごろから鯨を食べていたの?

A、日本では縄文時代の遺跡から、鯨の骨がみつかっているよ。広まったのは獲り方が確立した江戸時代らしい。肉を食べるのはもちろんだけど、骨や髪まで余すところなく工芸品などに加工して活用してきたんだよ。

みなみぼうそう  
南房総の「鯨のたれ」は  
ゆうめい  
有名な加工品だね。

Q、日本人以外に鯨を食べてきた人は?

A、アメリカやカナダのイヌイット、ノルウェー、アイスランド、カリブ海や南太平洋の島々の人たちが食べてきたんだって。



Q、捕鯨反対団体の意見は?

A、2019年7月時点では、捕鯨反対団体が48、賛成団体が40。日本以外に鯨類資源の持続的利用を考える国があるよ。



それぞれの国や地域に様々な歴史・文化があって、色々な考え方があるんだね。

文化・保護・資源活用

